

1/16 3.28

「専守防衛 反しない」

公明党の北側一雄副代表は12日のBS1の「報道ライブインサイドOUT」に出演し、敵基地攻撃の保有は「専守防衛」に反しないと開き直りました。

メインキャスターの吉田公雄氏は、敵基地攻撃能力の保有を認めないと「専守防衛」に徹するという考え方を「変化してきたのかと受けとめる方が多い」と指摘。日本

「わざわざ判断した」などと述べました。

一方で、政府が「平生

がミサイル攻撃を察知したら、「防衛のために撃たざるを得ないんじゃないか」という議論もある。

どう思っておですか」と質

問しました。(1959年3月19日、伊藤繁次郎防衛庁長官)と答弁してきた。

敵基地攻撃保有に公明・北側氏強弁

北側氏は、敵基地攻撃能力の保有は「専守防衛」の理念に反していない」と強弁。「憲法の範囲内で専守防衛の範囲内だとこう判断をした上で、政策的に敵基地攻撃能力を保有をしないとした。